

令和 8 年度 事業計画

I. 企業の発展と事業継続をサポート

■ 個社支援 (経営力と事業継続力の強化)

会員企業が直面する課題にワンストップで積極支援を行います。

① 競争力強化と生産性向上

・省力化・価格転嫁

人手不足対応としての省力化投資補助金や業務改善助成金の活用支援。
パートナーシップ構築宣言の推進。

・DX 化の推進

会員の DX 課題掘起に対し実訪を行い、IT 支援専門家による個別支援、AI 活用セミナー、クラウド会計導入、キャッシュレス納付の促進。

・新分野進出・経営革新

事業再構築や「経営力向上計画」等の策定支援、INPIT (知財総合相談窓口)との連携。

・資金調達・経営安定

マル経資金や県制度融資による資金繰り支援。

・法改正対応

インボイス制度、取適法、カスハラ対策等の周知と相談対応。

② 地域の持続的な発展を支える起業・創業、事業承継の推進

・事業承継: 専門家派遣や巡回訪問 (週 1 回) による計画策定支援、「継ぐ側・継がせる側」へのセミナー開催。

・創業支援: 創業塾の開催、空き家・空き店舗とのマッチング、創業後の定着支援 (交流会等)。創業を考えている方への情報提供。

③ 人材確保・育成: 建設関連業の担い手確保

・プロフェッショナル人材戦略拠点 (副業・兼業) の活用周知。

■ 面的支援 (地域の強みを活かした活性化)

・木綿街道エリア支援

「重要伝統的建造物群保存地区」認定に向けた協力および認定後の観光地域づくり、醸造業への支援。

・地域資源活用

醸造、鋳物業等の集積業種への支援

NPO ミライビジネスいずも等との連携強化による企業資産の情報共有
地域資源の再考 (クラフト作家、神社仏閣、電車、学校等)

II. 魅力ある平田地域づくり

交流人口・ファン人口の拡大

- ・地域イベント(平田まつり、雲州平田まちあそび等)への協力。
- ・未来づくり委員会を中心とした若年層支援
- ・平田高校・県立大学との協働事業(商品開発等)。
- ・定住促進委員会による空き家・空き店舗のリノベーション推進。
- ・中心市街地活性化 商店街(本町、木綿街道、駅通り等)の活性化事業支援。
- ・出雲空港発着便(名古屋、静岡、仙台等)の利用促進とインバウンド需要の取り込み。

III. 積極的な政策提言・要望活動

- ・経済対策・インフラ整備、物価高騰対策や金融支援の要望。
- ・境港出雲道路(8の字ルート広域活動)、山陰・伯備新幹線の整備促進。
- ・出雲縁結び空港および河下港の利活用推進。
- ・土地利用・産業活性化 定住促進のための土地利用規制緩和。
- ・宍道湖西岸農地整備事業の発注要件緩和等の要望。

IV. 商工会議所の機能強化

○組織・財政基盤の強化

- ・会員増強:管内の事業所把握として、NTTのデータ活用を行う。
創業者へのアプローチ。既存会員への調査。
- ・共済制度:生命共済制度のリニューアルによる会員福利厚生の充実と財政基盤確立。
- ・人材育成:人事体制強化のため 新職員採用

○周年事業

- ・創立 80 周年(令和 10 年)に向けた委員会の設置と準備。
- ・青年部(50 周年)、女性会(40 周年)への協力。

○会員交流の活性化

- ・移動商工会議所、新入会員交流会、女性経営者交流会「平田 DE 女子会」。

○業務効率化と DX・広報強化

- ・内部 DX の推進:生成 AI(Gemini、NotebookLM 等)の活用による業務改善、ペーパーレス化。
- ・広報・情報発信:LINE 公式アカウントや SNS(HP、Facebook、Instagram)を活用した情報発信の強化。
- ・危機管理(BCP):会議所 BCP リニューアルとセキュリティ強化。

○関係機関との連携

- ・日本商工会議所、県連、出雲市内の商工団体、大学、行政機関等との広域的な連携強化。

V.戦略プロジェクト委員会

○未来づくり委員会

- (1) 平田高校、県立大学等の連携協力
- (2) まちづくりに関し、メンバーは固定せず、幅広く参加者を募った、フリートークの開催
- (3) 平田の未来ビジョン策定についての、勉強会及び視察会実施(雲南市等)

○定住促進委員会

- (1) 7年度実施の空き店舗・空き家の調査結果をデータ化し、公開に向けた準備体制づくり。灘分・国富調査実施。
- (2) 安価な住宅開発の検討

○基盤整備委員会 8の字ルート整備促進

- (1) 積極的な広報活動として、かわら版の発行、啓発グッズ等の作成、PRイベント開催
- (2) 国への要望活動やシンポジウムへの参加
- (3) 有識者との勉強会開催